13

モバイルシステムによるハマダラカ類の採集
地点の図化と地理情報収集の試み
○二瓶直子*・小林睦生(国立感染症・昆虫医
科学)・斉藤康秀(*麻布大・獣医・寄生虫学)
Mapping and collection of geographic
information about the distribution of
Anopheles spp. by mobile GIS
Nihei N., Kobayashi M. and Saitoh Y.

北海道におけるマラリア媒介蚊の種や調査地域の環境を把握する方法としてモバイル GIS (地理情報システム) を導入した。データの収集については、野帳、GPS カメラによる写真、空中写真、デジタルマップ、GPS 受信機付 CF カード等を用いた。モバイルシステムとして時期、年度、調査者が変わってもデータが収集できるナビゲーションが可能で、位置の精度が高く、情報量の多寡、調査の修正が適宜可能な方法として、GIS ソフトとして ArcView (Esri 社) に組み込む ArcPad (Esri 社) を装備した PDA を用いた。住所、経緯度、牛舎名、調査施設、地形、土地利用、蚊の成虫、幼虫の採集数を入力した。今後 GPS 受信機の機能・精度、PDA の容量や機種を検討し、長時間野外調査に適した環境を整備し、衛生動物の野外調査に広く応用できるモバイル GIS を確立させたい。

14

世田谷区におけるネズミ相談件数からみる現状
前川博紀・鈴木武雄・岡田光由・小林和史
(世田谷区世田谷保健所)
The current condition of viewed from the numbers of
consultation on rats in the City of Setagaya
Maekawa H., Suzuki T., Okada M. and Kobayashi K.

〔目的〕

平成 9 年度から 13 年度までの 5 年間でネズミ相談件数の多い 4 地域 (1 k m²) を選び、発生状況・地域特性・要因の検討を行った。

〔各地域の特徴〕

- A 地域 平成 10 年度に大学の解体を行った。
- B 地域 平成 13 年度に親水公園建設を行った。
- C 地域 商店街北側の住宅街は平成 9 年度から絶えず件数が多く、幹線道路の拡張工事も行っている。
- D 地域 平成 13 年度に相談件数が急増した。この地域は 12 年度から建設工事が急増している。

〔考察〕

4 地域それぞれに大規模な工事が行われているが、工事と苦情の直接的な因果関係は認められなかった。苦情の増加は潜在的なものが顕著化した可能性がある。